

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 彦根市開催基本方針

1 基本方針

第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会は、競技力の向上やスポーツの普及・振興を図ることで、すべての市民がより身近にスポーツを楽しみ、生涯を通じて健康で心豊かな生活を送ることができるよう、両大会を一体的に開催することで、障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加の推進に寄与する大会とします。

また、市民総参加で心のこもったおもてなしや情報発信に取り組むことで、市全体の連帯感を高め、本市が目指す「風格と魅力ある都市の創造」につながる大会を目指します。

2 実施目標

(1) スポーツで彦根を元気にする大会

市民一人ひとりが、年齢、性別、健康状態や障害の有無等に関わらず、「する」「みる」「ささえる」といった様々な形でスポーツに積極的に参画するきっかけとします。

(2) 彦根の子ども・若者や女性が主体的に関わる大会

子ども・若者や女性による大会に向けた準備や大会運営への主体的な参画を図ることで、子ども・若者の育成やスポーツを通じた女性活躍の推進につなげます。

(3) みんながともに支えあう彦根を目指す大会

障害のある人が主体的に大会に参画することや、スポーツを通じた交流の場の創出により、障害への理解を深め、ともに支えあう社会を築きます。

(4) 市民総参加でつくり、彦根の力を結集する大会

東京2020オリンピック・パラリンピックやワールドマスターズゲームズ2021関西で高まる関心や実績を両大会につなげ、スポーツボランティア活動が円滑に行われるように努め、市民、地域、関係機関・団体、大学、事業者、NPOなどの多様な主体による大会準備・運営への参画や発信を推進し、市民の力を結集します。

(5) 彦根の魅力を再発見し、地域振興につなげる大会

自然、歴史、文化、食などの様々な彦根の魅力を見つめなおし、全国に発信するとともに、競技会運営やおもてなしをきっかけとした地域振興を図ります。

(6) 彦根の子どもが、彦根で育ち、彦根で活躍する大会

大会を契機として、彦根の地で選手が育ち、その選手が指導者となって次の世代を育てるなど、彦根のスポーツの発展を支える好循環の形成に努めます。

(7) 彦根の特色を生かし、創意工夫を凝らした大会

既存施設の有効活用や大会運営の簡素化・効率化を徹底し、開催経費の低減に努めつつ、彦根らしい魅力あふれる大会を目指します。